

「校長室」 通信

第15号

都城市立姫城中学校だより

令和2年12月21日（月） 文責：校長 永山博一

令和2年 姫城中を支えて頂き、ありがとうございました。

令和2年も、残り僅かとなりました。今年はコロナウイルスに翻弄（ほんろう）された1年となりました。保護者の皆様におかれては、ご家庭や各事業所で様々なご苦勞があったことと推察いたします。学校においては、行事等で多くの制限や縮小・中止があり、毎日の消毒作業等、生徒もよく規則を守り、お陰様で年末を迎えることができました。改めまして、生徒・保護者の皆様に、ご協力・ご理解を頂き、心より感謝申し上げます。3学期は、入試や修学旅行等大きな行事を控えており、重ねて寒さも厳しくなる中、コロナ対策健康管理が最大の課題となると考えます。

姫ボラ 花の苗植え活動



12月上旬から、校内の花壇を耕し、肥料散布、パンジー等の苗を植える活動を姫ボラ参加生徒で行いました。苗をまちづくり協議会やコメリ上東店から寄贈して頂き、ありがとうございました。社員の方も参加して頂きました。日々の水やりは園芸クラブやボランティア担当の生徒がやってくれます。

教師の授業力向上・改善

令和3年度から学習指導要領改訂（各教科の方針）



主体的・対話的な授業展開

とそれに伴い教科書改訂も行われます。授業において「主体的・対話的な学習」「思考・判断・表現」というキーワードがあり、受け身で授業を受けることからの脱却を目指しています。12月10日（木）数学科（中武教諭）

2年3組で研究授業を行い、生徒が主体的に対話をしながらか問題を解決していく授業を展開しました。

恒例の門松づくり いい年になりますように！！



正門の立派な門松

12月20日（日）明道小南小・姫城中の『おやじの会の保護者・OB』の方が、総勢25名参加して、各校校門に門松を計4か所設置しました。12月上旬から、事前に竹切りを行い準備を進めて頂きました。新年は、コロナ感染が沈静化、安心して日常が送れることを心から願っています。お陰様で、立派な門松が完成しました。感謝いたします。

生徒会専門委員長も任命・引継式



新旧役員が引継

14号通信では生徒会執行部の新役員をご紹介しました。さらに、今回は各専門部の委員長・副委員長の任命・引継式も行いました。1月からは、新役員のもとで、各種活動が行われます。

校長の独り言『年賀状』 今年も残すところ僅かになり、今年にはコロナ禍の師走です。この1年間、生徒の心身の成長のために物心両面にわたりご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。さて、皆さんは年賀状を書きますか。私は友人やお世話になった方、30年以上にわたり年賀状のやりとりをしている方、遠方にて年賀状だけで近況を交わす方もいます。毎年、250通ほど出します。結婚・誕生・進学・就職・転居等の近況がわかり、見るのがとても楽しみなのが年賀状です。最近では、スマホの普及に伴い年賀状を書かない人も増えていますが、アナログの良さも残して欲しいとおじさんは思います。歳をとった証拠かもしれません。ただし、今年にはコロナ禍で帰省が少なく年賀状が増える予想のようです。年賀ハガキの売り上げ増ですね。来年の干支（えと）は【丑うし】です。『丑=牛』は昔から、食用というよりも生活のパートナーでした。重い荷物を運んだり畑を耕したりと生活の中に欠かせない動物だったのです。ウシは力強さの象徴であり『粘り強さや誠実さ』を表すそうです。我が家は年末に家族で寒風の中、墓掃除に行き、水と雑巾とタワシで表面についたコケや汚れ落としをします。正月を『ご先祖様が気持ちよく過ごせますように』と、願いを込めて。私がこうやって生活し仕事ができるのは、今生きて、お世話になっている方だけでなく、先祖が命をつないでくれたお陰でもあります。